



大網ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

■クラブ創立：2000年1月13日
 ■例会日：水曜日（12：30～13：30）
 ■例会場：中部コミュニティセンター
 TEL 0475-73-3337 FAX 0475-73-4360
 ■事務所：〒299-3251
 大網白里市大網 450-6 ユアサビル 2階
 TEL 0475-70-0200 FAX 0475-70-0222
 ■会長：大越 将司 幹事：星野 実
 ■広報・公共イメージ向上委員会
 委員長 小倉 光夫・会報担当 石田 英世

2024年 6月 5日(水)
第25巻 第41号

通巻第1071

http://www.oamirotary.com
E-mai : rc@oamirotary.com



世界に希望を生み出そう

本日の例会

点 鐘 会長 大越 将司
 唱 和 四つのテスト
 ソング 奉仕の理想
 会長挨拶 会長 大越 将司
 幹事報告 幹事 星野 実
 プログラム

1. 諏訪武士ガバナー補佐訪問
2. 奨学金授与式 ハオ シャンシャン様
3. 6月誕生祝い 安原 晃一 会員
4. 卓話 大塚和良会員ご紹介
川名 辰司 様

ニコニコBOX

大越 将司会長
 中嶋様、松本様、お越し頂きありがとうございます。
 石田英世会員
 無事 世界大会行って参りました。
 (疲れました)

例会日	5月29日	5月8日
会員数	31	31
出席	19	17
欠席	12	14
M U	0	0
免除	5	7
出席率	77%	77%

会長挨拶

大越 将司 会長



みなさん、こんにちは。

先週は国際大会の為、例会はお休みでした。次週、報告をしていただくのが楽しみです。どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、先週5月21日に財務省の諮問機関にあたる「財政制度等審議会」が、「我が国の財政運営の進むべき方向」という建議を、鈴木財務大臣に提出していました。

財政制度等審議会とは、十倉経団連会長を座長とした審議会で、皆さんもよく知る財界人・著名人・有識者で構成されています。

内容は市場動向など経済にかかわることはもちろんですが、人口減少や医療・介護等非常に多岐にわたっています。

ニュースでは、長期金利の上昇に伴う、国の負債の利払い増加への懸念について報道されていました。

様々なことが書かれていますが、私が最も注目したのは、「少子化対策」の部分です。皆さんもご存じのとおり、昨年の出生数は75万9千人と過去最少を更新しました。その要因を様々なデータで示しながら解説しています。

ここで、興味深いデータを紹介します。

就職情報サイト大手「マイナビ」が現役大学生に行った調査

「2024年卒大学生のライフスタイル調査」によると、「今のところあまり子どもは欲しくない」と回答した学生の割合が、男性は10年前と比較して4.7ポイント増の8.5%あったのに対し、女性は10.6ポイント増の18.8%とおおよそ2割の女子大生が、当面の出産は考えていないとの回答でした。

男女差も10.3ポイントと拡大しているのが分かります。

別の質問で女子学生に「将来の理想の自分像」という質問を行ったところ、

「愛する人と結婚して子供ができて幸せに暮らす」25.1%と減少傾向で「一生食べていける安定した仕事を持つ」26.9%と後者が逆転しました。

若い世代でも特に女性の、結婚や出産・仕事に対する考え方が大きく変化しているようです。

本日の卓話は、本市で保育園など様々な子育て支援事業をおこなう、ありんこグループの中嶋様と松本様より、本市の子育て支援の現状と課題について、実践を交えた貴重なお話が頂けるとのことで、大変楽しみにしております。

以上で、私の会長挨拶といたします。

奨学金授与式



初めまして、中国から参りました、ハオ シャンシャンと申します。上野動物園で生まれたパンダもシャンシャンですが、私も“シャンシャン”みたいに沢山の人に愛されるように何事も頑張っていきたいと思ひます。現在、城西国際大学院 人文科学研究科 女性学専攻で勉強しております。これからも、よろしくお願ひします。



佐藤カウンセラー、1年間宜しくお願ひ致します。

国際大会 シンガポール



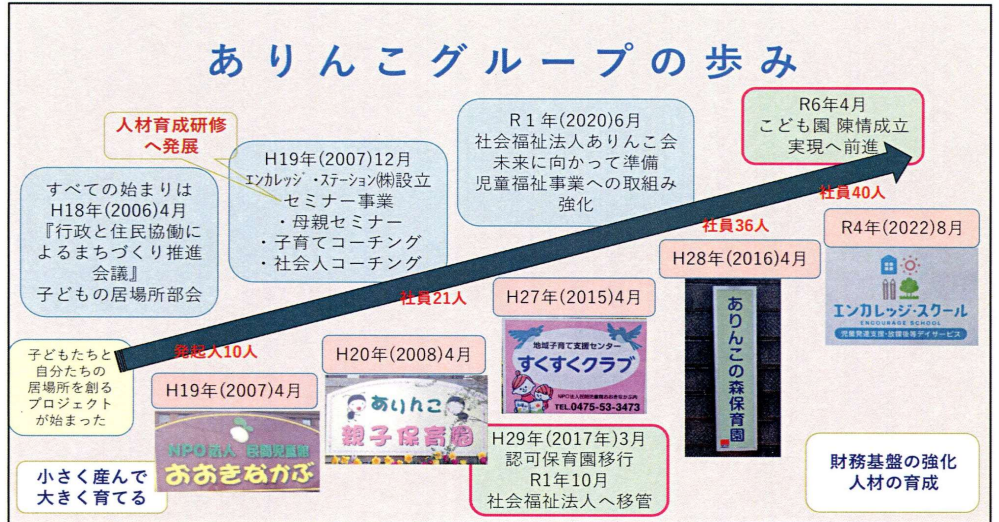
卓 話

社会福祉法人 ありんこ会 理事長 中嶋 悦子 様
業務執行理事 松本 清資 様

「子育てしやすい街づくりが
地域経済を活性化する」



地域に根差した子どもの居場所づくり・この地域における子育てを徹底的に支援



2024年4月25日付 千葉日報より一部抜粋

県内 22 市町が「消滅可能性」 20~30 代女性、30 年で半減

経済界有志らでつくる民間組織「人口戦略会議」は24日、人口減少の深刻化により将来的に「消滅の可能性がある」とする自治体を発表した。千葉県内では全54市町村のうち40%に当たる22市町が「消滅可能性自治体」とされた。2020~50年の30年間で、子どもを産む中心世代となる20~30代の女性が50%以上減るとの推計を根拠とした。国や自治体に対しては、人口の動きは地域によって異なるとして、特性に応じた対策を求めた。県内ではこの他、100年後も若年女性が多く残る「自立持続可能性自治体」2市、人口流入が多いものの出生率が低い「ブラックホール型自治体」2市町、いずれにも該当しない「その他」28市町村だった。

「消滅可能性」の中でも、人口の自然減と社会減の双方の対策が極めて必要な「特に構造的に深刻な自治体」とされた銚子市。担当者は「判定されたことは深刻に受け止めている」と話す。背景を「若い世代の働く場がないこと」と分析し、総合戦略にも掲げる若者の働く場づくりや子育て支援に引き続き力を入れるとした。

大網白里市は、千葉県内保育所待機児童ワースト2

学童保育の対象児童は3年生までとなり、4年生からの壁があります。障害児学童保育は民間任せです。課題は、女性にとって魅力ある都市にしなければ消滅する。女性が働きやすい場所を作っていく。

- ・ 保育所・学童が近くにある⇒ キーワード!
- ・ 女性の社会進出=世帯所得増=購買力 up ⇒ 保育の受け皿が必要

ありんこ会グループ 社会福祉法人のミッション

こども園を中心に地域のネットワークの核になり、全ての住民・事業者と手を組み福祉を必要とする方へ支援の手を届ける。それが私たちの喜びです。

あくまで事業は手段である

「われわれのミッションは何か?」。
目的なしに働くことほど辛いことはありません。そのうえで、その目的を実現する手段である事業を問います。

「われわれの事業は何か?」。
どんな価値をどんな顧客に届けるために働いているのか。
仕事は人のために行うものです。何のために働くかを示さずして、やりがいやモチベーションはありません。 P.F.ドラッカー

